



K U <ken.urai@gmail.com>

学問と知そして貨幣についてRe: 3月ジョイントセミナー内容にもう少し踏み込んだ広報プラン (P.S.守永先生についての情報提供お願い) Re: ジョイントセミナー2日目広報内容も含めて Re: ジョイントセミナープログラム確定の件 Re: 3月ジョイントセミナー (於: 大阪大学) 日程のご相談 (浦井)

K U <ken.urai@gmail.com>

2026年3月14日 10:43

下書きの宛先: NAGAHISA Ryo-ichi <nagahisa@kansai-u.ac.jp>, 塩谷賢先生 <saltcat@bc4.so-net.ne.jp>, "h.murakami361" <h.murakami361@gmail.com>, 守永 直幹 <devenir21@hotmail.com>, Kaz Sngw <nknsj2011@gmail.com>, "M.Usui" <m-usui@shikoku-u.ac.jp>, Morii Daiichi <morrydaich@hotmail.com>, 景山 悟 <s.kageyama1@gmail.com>, Shigeki TOMO <vgpstomo@gmail.com>, "m.katsuragi@econ.osaka-u.ac.jp" <m.katsuragi@econ.osaka-u.ac.jp>, "takeuchi@econ.osaka-u.ac.jp" <takeuchi@econ.osaka-u.ac.jp>, 三井泉 <izm.mitsui@gmail.com>, Takashi Suzuki <takashisuz@jcom.home.ne.jp>, Kyosuke MISAWA <k-misawa@g.ecc.u-tokyo.ac.jp>, kohzoh shiraishi <shiraishi@wesleyan.ac.jp>
Cc: Yutaka Tanaka <cosmopolitan008@gmail.com>, 花岡永子先生 <hana9@khiro.jp>, 田村 高幸 <ttakayuki@faculty.chiba-u.jp>, Yasuto Murata <CZU12545@nifty.com>

『学問と知そして貨幣について』

- 経済学と経営学

- 厚生経済学基本定理

- 私企業としての銀行 (大学)

- 貨幣 言語学問

- 通貨の価値 定理の価値 (結果であるべき成果を目的にすること)

- 具体性の置き間違え第二層

- (対象、行為、方法)

2026年3月11日(水) 14:53 Ken Urai <ken.urai@gmail.com>:

ジョイントセミナー報告関係者皆様

CC: ホワイトヘッド学会関係者皆様

お世話になっております。当日報告関係者皆様ということで、内々で送らせていただいております。浦井@大阪大学です。13日、14日のセミナーではお世話になります。

(1) 報告ならびにコメントいただける先生方、もし公開可能な資料(PDF)がありましたら、アップロードしますので、お寄せ下さい。

(2) もう一点、現時点でも守永先生(第一日目13:00-13:50第一報告)からご連絡をいただけておりません。先週土曜日ご自宅に速達郵便なども送付させていただき幾日か過ぎており、また調べますとX(旧ツイッター)等の更新も先月下旬で途切れており、これは少し通常の事態ではないように思われます。広報としては13:00の開始で

(確認待ちという形で) 一応アナウンスはしておりますが、おそらくお越しいただけるのは難しいのではないかと
思われます。

自身何かとスケジュールが混んでしまい、これ以上の対応ができないまま今日に至ってしまっているのですが、もし皆様方のほうで何か情報お持ちであれば、あるいはお知恵拝借できましたらありがたく、とりあえず情報を共有
ということで、お願い申し上げます。取り急ぎ。

浦井 憲

数理経済学会方法論分科会・大阪大学方法論研究会共催／2026年春季ジョイントセミナー
Date: 2026.3.13 Friday -- 14 Saturday 『今日社会における通貨の役割と學問の方法』 第一回
Venue: 大阪大学 豊中キャンパス (法・経大学院総合研究棟1階 e-コモンズ)

【1日目：3月13日 (金)】

- 13:00～13:50 セミナー1 (未確定) 守永直幹氏 (宇都宮大学) TBA (貨幣と負債・数量化・シンボリズムそして
自由意志関連の哲学的テーマ)
- 14:00～14:50 セミナー2 砂川和範氏 (中央大学) 『貨幣による世界の数値化とグローバリズム——会計・金融
人類学からの理論的再考——』
- 15:00～18:00 シンポジウム 基調講演／臼井正樹氏 (四国大学) 『“金融のメカニズム”再考——信用乗数理論に
代わる新たな“真の金融理論”を考える』 パネリスト／浦井憲・塘茂樹氏・景山悟氏、他 TBA。
- 懇親会 18:00～20:30 (学内)

【2日目：3月14日 (土)】

- 午前11:00～12:00 追加座談会1 『学問と知そして貨幣について』 (司会／浦井憲 パネリスト／塩谷賢氏・他)
 - 午後13:00～14:00 追加座談会2 『民主主義下ゆえに求められる通貨管理の規律意識』 (提題／臼井正樹氏 パ
ネリスト／長久領壹氏・他)
 - 午後14:00～15:00 追加座談会3 『AI・グローバリズムと民主主義・医療と国家財政などを巡って』 (司会／浦
井憲 パネリスト／森井大一氏・他)
- 15:00 閉会

※ 当日資料も含め最新の情報は数理経済学会 HP セミナーメニューからご覧いただけます。
<http://ethic.econ.osaka-u.ac.jp/seminar/seminar.html>

両日ともセミナーおよびシンポジウム (座談会) は全て Zoom 参加可能となっております。今回メールでお知らせ
している皆様には、下記に Zoom での参加リンクもご案内しております。お気軽にご参加下さい。

浦井 憲

Ken Urai さんがあなたをスケジュール済みの Zoom ミーティングに招待しています。

トピック: 数理経済学会方法論分科会・大阪大学方法論研究会共催／2026年春季ジョイントセミナー

時刻: 2026年3月13日 01:00 PM 大阪、札幌、東京

毎日 / 指定終了日: 2026年3月14日 / 開催回数: 2 回

下記のiCalendar (.ics) ファイルをダウンロードしてご自身のカレンダーシステムにインポートしてください。

日次: [https://us02web.zoom.us/meeting/tZwocOitqzsrE90dT-gzVoL6wzHsmni7oaXE/ics?icsToken=DJhJ1uCCiuCJYLYR1QAALAAAHjjBb541nc6KHJdXKJKVYHTQrBkWKgVpTtDZHT94lgqtmgHhmOW1ikkRbOOCrs_Htm6vK_cP9xnScGRBzAwMDAwMQ&meetingMasterEventId=CS-r3XSmTuiXIACvSuQ-3A](https://us02web.zoom.us/j/88571550199?pwd=JQaiibTJgvoz11I8zkaMZx1FR3dDZ6.1)

Zoom ミーティングに参加する

<https://us02web.zoom.us/j/88571550199?pwd=JQaiibTJgvoz11I8zkaMZx1FR3dDZ6.1>

ミーティング ID: 885 7155 0199

パスコード: 938376

ワンタップ モバイル

+16699009128,,88571550199#,,,,*938376# 米国 (San Jose)

+16892781000,,88571550199#,,,,*938376# 米国

参加手順

https://us02web.zoom.us/join/88571550199?signature=brgDrP05AWV962EJLXUj2Trp_H7bpkKWSAfWhvdJN-I

On 2026/03/08 19:31, Ken Urai wrote:

長久先生

CC: 皆様

ありがとうございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。白井先生のお話から国際政治の問題につながる形になり、大変ありがたいです。

エプスタイン文書など、以前は陰謀論と片付けられていたものが、通常のニュースで取り上げられるようになりました。もう一昨年(2024年)の三月になってしまいましたが、民主主義の危機という話を始めた頃に米国議会における501Cという特例の寄付金などを取り上げましたが、政治家の腐敗(これは単なる腐敗などではなく制度化され合法化された腐敗であり、明確に構造的な問題です)ということも、これからますます取り沙汰されるでしょう。しかしそれをどう解決できるか、現状では誰も解決できない、というすごい話です。それでも自民党に票が集まる、ということが、どこまで続くのかです。

リアリズムという観点からは、国際政治学のリアリスト学派(ジョン・ミアシャイマーなど)をどのように位置付けるか、以前良く来られていた新後閑さんがかなり拘っておられましたが、参政党などの理論的支柱になっているようでもあり、これからの日本(わたし達)の立ち位置ということを通じて、重要な問題になってくるように思います。

浦井 憲

On 2026/03/08 17:56, NAGAHISA Ryo-ichi wrote:

浦井先生、皆様

関西大学の長久です。ご依頼の件、了解しました。テーマがあまりに広く、どのようにアプローチするか悩ましいです。今のところ私としては、最近の2つの時事問題、先の衆院選挙とアメリカイスラエルのイラン攻撃を軸に、これを私の専門である社会的選択理論の理論分析に結びつける形で問題提起しようかと考えております。この2つは、民主主義とグローバル社会の関係を論じるにあたって、格好の材料であると考えております。

当日を楽しみにしております。

長久

[Outlook for iOS を入手](#)

差出人: Ken Urai <ken.urai@gmail.com>

送信日時: Sunday, March 8, 2026 5:15:36 PM

宛先: NAGAHISA Ryo-ichi <nagahisa@kansai-u.ac.jp>; 塩谷賢先生 <saltcat@bc4.so-net.ne.jp>

CC: Yasuto Murata <CZU12545@nifty.com>; h.murakami361

<h.murakami361@gmail.com>; 守永 直幹 <devenir21@hotmail.com>; Kaz

Sngw <nknsj2011@gmail.com>; M.Usui <m-usui@shikoku-u.ac.jp>; Morii

Daiichi <morrydaich@hotmail.com>; 景山 悟 <s.kageyama1@gmail.com>;

Shigeki TOMO <vgpstomo@gmail.com>; m.katsuragi@econ.osaka-u.ac.jp

<m.katsuragi@econ.osaka-u.ac.jp>; takeuchi@econ.osaka-u.ac.jp
<takeuchi@econ.osaka-u.ac.jp>; '田村 高幸' <ttakayuki@faculty.chiba-u.jp>;
三井泉 <izm.mitsui@gmail.com>

件名: 3月ジョイントセミナー内容にもう少し踏み込んだ広報プラン (P.S.守永先生についての情報提供お願い) Re: ジョイントセミナー2日目広報内容も含めて Re: ジョイントセミナープログラム確定の件 Re: 3月ジョイントセミナー (於: 大阪大学) 日程のご相談 (浦井)

塩谷先生、長久先生

CC: 白井先生、砂川先生、守永先生、森井先生、塘先生、景山先生、葛城先生、竹内先生、三井先生、村田先生、田村先生、村上先生

三月ジョイントセミナー (13日14日) 企画について、お世話になっております。お休みのところ、失礼いたします。依然として守永先生からご連絡をいただけていない状況なのですが、しかし明日には広報したいところ (既に数理経済学会からは広報許可を得ています) でもあり、先生方には先に CC させていただいたような内容 (すみません、葛城先生、竹内先生、三井先生、田村先生には今回からになります) に、その後、もう少し内容に深く踏み込みつつ、以下のようにプログラムを詰めていております。

つきましては、塩谷先生、長久先生、2日目の追加討論1および2での**パネリスト (5分~10分で何かテーマに則した問題提起をいただけましたならばそれで十分です)**としてお名前を挙げさせて頂いても構わないでしょうか。またここでご連絡させて頂いております先生方に於かれまして、もし全体討論、追加討論1, 2, 3においてパネリストとしてお名前を挙げさせていただく形でのご参加の希望があれば、いずれでも対応いたしますので、お知らせ下さい。

数理経済学会方法論分科会・大阪大学方法論研究会共催/春季ジョイントセミナー
Date: 2026.3.13 Friday -- 14 Saturday 『今日社会における通貨の役割と学問の方法』
Venue: 大阪大学 豊中キャンパス (法・経大学院総合研究棟1階 e-commons)

【1日目: 3月13日 (金)】

- 13:00~13:50 セミナー1 守永直幹氏 (宇都宮大学) TBA (貨幣と負債・数量化・シンボリズムそして自由意志関連の哲学的テーマ)
- 14:00~14:50 セミナー2 砂川和範氏 (中央大学) 『貨幣による世界の数値化とグローバリズム——会計・金融人類学からの理論的再考——』
- 15:00~18:00 全体討論 基調講演/白井正樹氏 (四国大学) 『“金融のメカニズム”再考——信用乗数理論に代わる新たな“真の金融理論”を考える』パネリスト/浦井憲・塘茂樹氏・景山悟氏、他 TBA。
- 懇親会 18:00~20:30 (学内)

【2日目: 3月14日 (土)】

- 午前11:00~12:00 追加討論1 『学問と知そして貨幣について』(司会/浦井憲 **パネリスト/塩谷賢氏**・他)
- 午後13:00~14:00 追加討論2 『民主主義下ゆえに求められる通貨管理の規律意識』(提題/白井正樹氏 **パネリスト/長久領孝氏**・他)
- 午後14:00~15:00 追加討論3 『A I・グローバリズムと民主主義・医療と国家財政などを巡って』(司会/浦井憲 **パネリスト/森井大一氏**・他)

15:00 閉会

一日目全体討論の基調講演 (白井先生) の内容 『“金融のメカニズム”再考——信用乗数理論に代わる新たな“真の金融理論”を考える』に対して、**あくまでもセミナー全体を通じた (守永さん、砂川さん、二日目の討論にも続くところを含めた) テーマとして、**

『今日社会における通貨の役割と学問の方法』

のようなものを設定させていただきました。ちなみに当方は、一日目の全体討論で

Gmail - 学問と知そして貨幣についてRe: 3月ジョイントセミナー内容にもう少し踏み込んだ広報プラン (P.S.守永先生につ...
は、司会兼パネリストとして、フォン・ノイマンモデルの立場から、ケインズ的な話を一般均衡理論的にきちんと展開し直す必要性、またその場合、やはり IS-LM 的な考え方、とりわけ信用乗数とそれによって政策を考える立場というものが、Second Welfare Theorem 的に不十分である (基礎を持たない)、といった話をしようと思っています。

最後の追加討論3に「AI」を加えたことについて、そこに「真のリアリズム」ということを基本に、AI (≡市場に任せること?) とは何か、すなわち、自分で考えることの意義とは何か、あるいは国家において独立の重要性とは何か、または国際政治的に中立であるということの意義 etc. といったことを、自然に盛り込む形で深めていけたらと思っています次第です。(AIと學の方法という切り口は、先日村田康常先生から、ホワイトヘッド学会でのこの先の重要テーマとしても、ご提案をいただいたところ。また、以前、市場と民主主義の話と合わせて、猪木先生からも、AI という問題意識を頂いていたように思いますので、ぜひにと思って加えました。)

基本的に、今回のテーマ(「貨幣」をきっかけに RFSS とか民主主義とか宗教とかここ数年の話全部まとめる)はこの先少なくとも一年かけて皆で話し合うには格好の構えかと思っています(可能なら2026年度はジョイントセミナーを6月、9月、12月、3月の年4回にしようかと思っています)ので、皆様、必ずしも今回で全て思いを出し切るというスタンスではなくとも、幾分余裕を持って小出し、という感じでも大丈夫です。

浦井 憲

P.S. 実のところ、守永先生には昨日、速達郵便を通じて連絡を取らせていただいております。村上先生に調べていただいたところ、ツイッターの更新が2月の下旬以降、完全に停止しているらしく、もし今日・明日中にご連絡をいただけないとすると、若干(というか異常事態でありかなり)心配です。そういうこともあって、少し広めの皆様に情報を共有させて頂こうと思いCCさせて頂いております。もし何か情報をお持ちであれば、ぜひお知らせ下さい。

On 2026/03/05 20:33, K U wrote:

砂川先生、白井先生、守永先生

CC: 長久先生、森井先生、塘先生、景山先生、村上先生、村田先生

守永先生からのご連絡をお待ちしているところなのですが、ご返信をいただけておりません。村上先生からの情報ですが、Xのダイレクトメールでも連絡を取ることができないらしく、こういうことは初めてだそうなので、若干心配な状況です。ただ、時間も押しているところですので、1日めのタイトルの確定と2日目の企画を合わせて、ご相談進めさせていただきます。CCさせていただいた先生方(当方の手際が悪くて本日まで連絡がとれておらず事前打ち合わせとしては急なご連絡になってしまっているかと思うのですがどうかご勘弁下さい)も含め、ご意見、ご確認いただけましたならば幸いです。

【1日目: 3月13日(金)】仮題『今日社会における貨幣』

● 守永先生(一日目 13:00~13:50) 未確認

タイトル未定(貨幣と負債・数量化・シンボリズムそして自由意志関連のお話と伺っています)

● 砂川先生タイトル(一日目 14:00~14:50)

貨幣による世界の数値化とグローバリズム
——会計・金融人類学からの理論的再考——

●白井先生および全体討論（一日目 15:00～18:00）パネリスト（浦井 or 塘氏 or 景山氏から1～2、その他）
”金融のメカニズム”再考—信用乗数理論に代わる新たな”真の金融理論”を考える

●懇親会 18:00～20:30 懇親会

【2日目：3月14日（土）】仮題：『学問と知そして貨幣・グローバリズムと民主主義・医療と国家財政などを巡って』

●午前 11：00～12：00 追加討論1 『学問と知そして貨幣』司会／浦井

昼食（食堂はやっているようですが持参も良いかもしれません）

●午後 13：00～14：00 追加討論2 『民主主義下ゆえに求められる通貨管理の規律意識』（提題／白井先生）をきっかけとする議論

●午後 14：00～15：00 追加討論3 未定（例：市場と民主主義についての長久先生のお話とか国家財政と医療についての森井先生のお話とかをきっかけに議論ができたらと思っていますが、そのあたりを踏まえて追加討論2を延長しても良いかと思います。）

15：00閉会

だいたいこんな感じです。ご意見いただけましたならば幸いです。

浦井 憲

2026年3月5日(木) 13:10 Kaz Sngw <nknsj2011@gmail.com>:

浦井先生、みなさま

いつも大変お世話になっております。
中央大学の砂川でございます。

3月13日の発表順序につきましてご調整、ご連絡いただき、誠にありがとうございます。

スケジュールのご連絡ありがとうございました。承知いたしました。

当日は皆様と議論できますことを楽しみにしております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

砂川拝